

シャイン 069号

活気ある組織づくりを目指して

齋藤 洋一さん

会社名：某建設会社

役職：相談役

資格等：産業カウンセラー



【受講のきっかけ】

私は、かつて税理士事務所に勤務しており、企業の経営者が抱える悩みや問題を聴きながら経営者の方々の気持ちに寄り添ってきました。数年前に税理士事務所を退職した後は、建設会社で経理関係の事務と経営上の相談業務を担当しています。

前職とは違って、経営者だけでなく従業員の方々との接点がとても多くなりました。従業員との相談を通して、彼らの様々な苦悩を聴かせてもらっているうちに、自分が何か専門的な立場で力になれないものかと考えるようになりました。そこで、いろいろと情報を収集したところ「産業カウンセラー」の存在を知り、養成講座を受講してみようと思い立ちました。

受講した養成講座を振り返ってみると、実技指導者の先生方からは優しくご指導いただき、共に学んだ受講者の皆さんとは本当に楽しく面接の体験学習を重ねたことが強く記憶に残っています。

私は、講座を通してカウンセリングを体験的に学んだことで、真の自分と向き合い、自分自身をより深く理解することができました。そして、それまでよりもずっと楽な気持ちで自分の人生を送ることができています。

今後は、養成講座で得た知識や実践力を活かしながら、職場で働く人々が抱える悩みや苦しみを軽減して、気持ちよく職務を果たしていけるよう支援していきたいと思っています。

【資格取得後の活動状況】

現在は建設会社に勤務し、経理関係の業務を主に担当していますが、産業カウンセラー資格を取得した後は、従事者（経営者を含む）のカウンセリング業務も兼任しています。

「カウンセリング」として十分であるとは言えませんが、従事者の「ガス抜き役」として、日々丁寧に話を聴き、個々のストレス軽減に尽力しているところです。カウンセリング業務を始めてからは、会社内の雰囲気明るく活気が出てきたように感じられ、従業員の人間関係も風通しが良くなったように思われます。

特に、従事者とのカウンセリング終了時に、「話を聴いてくれてありがとう」とか「聴いてもらった気持ち楽になったよ」と言ってもらえると私自身も快い気持ちになります。産業カウンセラーの勉強を続けてきて本当に良かったなあ、と実感しています。

しかしながら、働く人々の抱える苦悩は様々であり、そう簡単には解決できないものも多々あります。現在の私の力量では、知識も経験も少ないことから、話を聴くことで精一杯というのが現状です。今後、さらに自己研鑽を積み重ね、相手の話をしっかりと聴きながら本人の気づきを促進して自己成長につなげることのできる産業カウンセラーを目指し、活気ある組織づくりに邁進していきたいと考えています。

皆で楽しい人生を送れますように。